

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月21日

事業所名 児童発達支援センターパステル単位1

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	・野外遊戯場を活用してスペースを確保しております。	・感覚統合療法(訓練)が展開できるように環境を整えていきたい。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	・重身のデイサービスと兼務の職員を配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	・玄関まで、両サイドスロープを設置しております。また、トイレに手すりを設置しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	・活動前後に、清掃をや消毒行い清潔に保てるよう努めております。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	・モニタリングの際に目標の設定の確認と振り返りを行っております。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	・毎年保護者向けの評価を行い、保護者の意向を把握し業務改善に取り組んでおります。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	・毎年法人のホームページにて公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	7		・現在は、第三者による外部評価は行われておりませんが、今後実施する必要性を検討しております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1	・コロナの影響で研修の機会が減っておりますが、オンラインでの研修等へ参加しております。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	・相談員からの情報や保護者からニーズや課題、強み等を分析し個別支援計画作成にあたっております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1	・アセスメントツールとしてエイブルを使用し、初回の計画の際や年度初めに保護者へ記載してもらっております。	・対象児童のニーズに対応したアセスメントツールや専門職の標準化されたアセスメントツールを取り入れ、支援へ繋げていきたい。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	・家族支援につきましては、適宜対応しております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	・計画に沿って、個別に合わせた支援を行っております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	・保育士、児童指導員、作業療法士、必要に応じて言語聴覚士を交えて活動プログラムを立案しております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	・保育士、児童指導員、作業療法士、必要に応じて言語聴覚士を交えて活動プログラムが固定化しないように工夫しております。また、児童の能力に応じて課題プログラムを都度行っております。	・プログラムが固定化しない様に、自立課題(活動プログラム)を組み合わせたり、バリエーションを増やしております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	・個別支援計画書を基に、個別活動では、自立課題に取り組み、集団活動では、遊びや運動を通して時間やルールの習得できるように支援しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	・朝のミーティングにて、振り返りを行い、支援内容の確認や役割分担を行っております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	・サービス提供後、日々の記録(支援日誌・実施記録)をとる中で、支援の振り返りや改善に向けて話し合いを持っております。また、申し送り表を活用し共有しております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	・日々の記録(実施記録)を基に、支援の検証や改善に繋がっております。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	・児童発達支援管理責任者が、定期的にモニタリングを行い、ケース担当者、作業療法士、必要に応じて言語聴覚士を交えて計画の見直しの必要性について話し合っております。	
関係機関や保護者と	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	・児童発達支援責任者が参加し、必要に応じて担当職員等も参加しております。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	・名護市福祉部の障害福祉課や生活支援課と連携しております。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	0	・重心のある子を2名受け入れており、関係機関と連携しております。また、同センター内の重身のデイサービスと医療連携体制を取っております。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	0	・重心のある子を2名受け入れており、関係機関と連携しており、術前・術後の支援等の相談をしております。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	・保育所や幼稚園との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の 連 携 関 係	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携	27	5	2	・R4.11月より児童発達支援センターとして、運営しております。	
	28	3	4	・地域支援事業として、同センター内の、子どもの居場所(キッズライブラリー)へ、通っている児童がおり、日常から自然な関わりがあります。	・コロナの状況が落ち着きましたら、コロナ前のように合同運動会等、幅広い施設との交流を行います。
	29	5	2	・名護市障害児通所支援事業所連絡会へ参加しております。	
	30	7	0	・保護者に対して送迎時やお迎え時、又は連絡帳を活用して子供の発達の状況を伝え合い共通理解を図っております。	
	31	5	2	・必要に応じて、相談や悩みをお聞きして、支援を行っております。	・次年度名護市よりペアレント・トレーニング事業を受託することになっております。
保護者への	32	7	0	・運営規定につきましては、契約時に丁寧に説明しております。 ・支援内容につきましては個別支援計画書やモニタリングの際に、丁寧に説明しております。 ・利用者負担金につきましては、請求書にて詳細に記載しております。	
	33	7	0	・児童発達支援管理責任者により、児童発達支援計画書を示しながら説明し、同意署名捺印を頂いております。	
	34	7	0	・困り感の見える保護者で、児童発達支援管理責任者が情報を得て、必要な助言と支援を行っております。また、相談支援員へ報告し、必要に応じ関係機関調整会議を行っております。	
	35	2	5	・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者同士の交流の場を持つことができませんでした。	・コロナの状況をみながら保護者同士が交流できるように支援いたします。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
説明責任等	36	7	0	・子どもや保護者から相談や申入れがあった場合は、管理者や児童発達支援管理責任者、主任で話し合い対応しております。	
	37	7	0	・毎月たよりを発行し活動の内容を発信しております。また、年間行事・活動計画書を年度初めに配布しております。	
	38	7	0	・会議やミーティングにて個人情報取り扱いについて、注意を払っております。	
	39	7	0	・児童の特性に合わせて、言語、文字、絵カード等を活用しております。また、保護者のお迎え時や自宅送りの際に事業所での様子を報告しております。	
	40	3	4	・新型コロナウイルス感染症の影響で、地域住民等を事業所に招待することができませんでした。	
非常時等の対応	41	7	0	・各種マニュアルを策定しております。また、年1回防犯訓練(不審者)を行っております。	・保護者へ周知していきます。
	42	7	0	・防火訓練は毎月1回、総合防災訓練は年2回(消火訓練・津波避難)行っております。	
	43	7	0	・児童発達支援管理責任者が、基礎疾患や服薬等確認しております。	
	44	7	0	・食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	
	45	7	0	・ミーティングや会議にて、ヒヤリハットの報告を行い、共有しております。	
	46	7	0	・事業所内にて、研修を行っております。	
	47	6	1	・現在、対象者はおりませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。